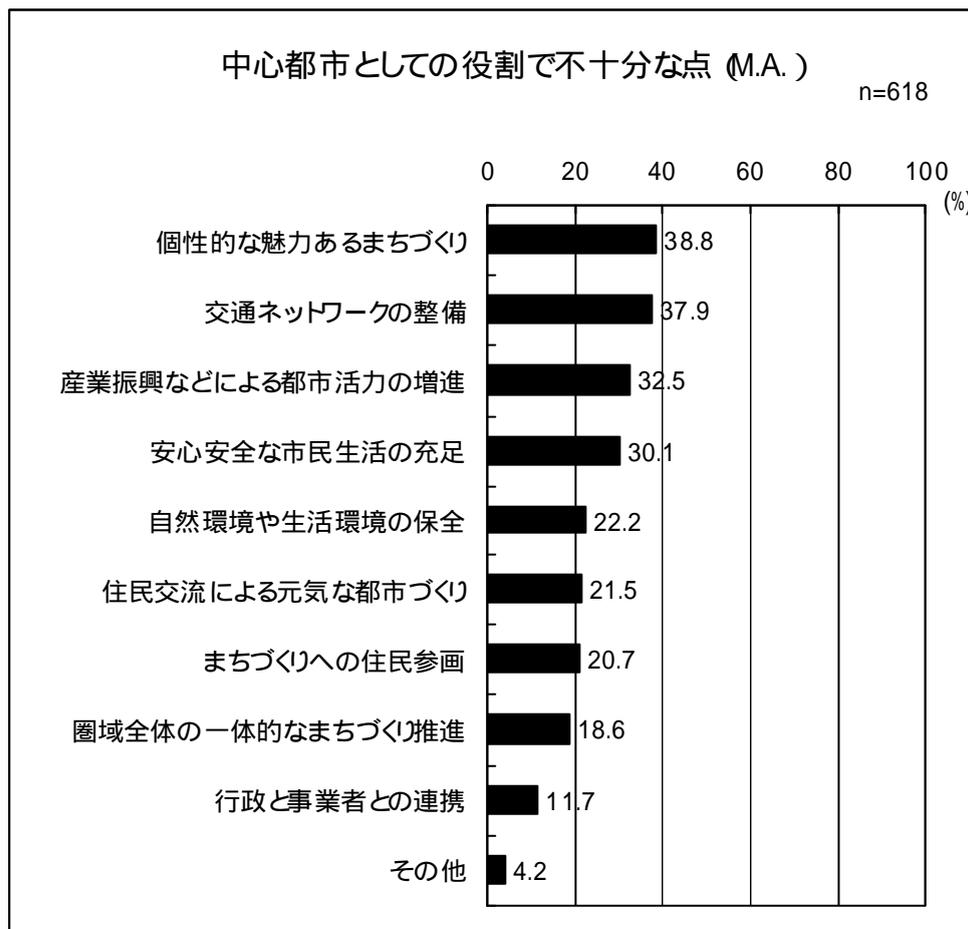


中心都市としての役割で不十分な点 (M.A.)

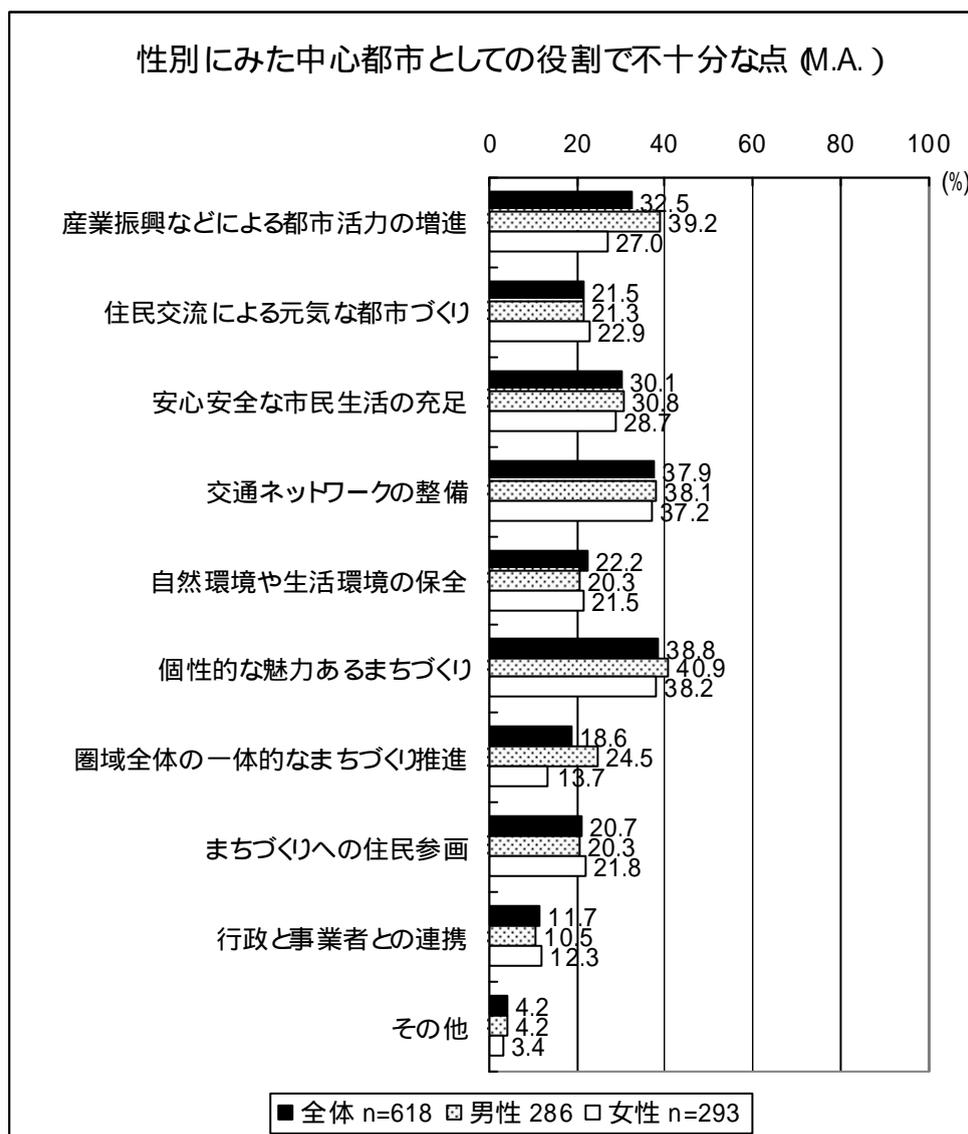
(1) 全体

「個性的な魅力あるまちづくり」(38.8%)、「交通ネットワークの整備」(37.9%)、「産業振興などによる都市活力の増進」(32.5%)、「安心安全な市民生活の充足」(30.1%)が30%を超える回答率となっており、個性、交通、産業・都市活力、安心安全の各側面での中心都市としての役割に対して市民の評価が相対的に低いことを示している。



(2) 性別

性別で大きな評価の差がみられたのは、「産業振興などによる都市活力の増進」と「圏域全体の一体的なまちづくり推進」であり、いずれも男性の回答率が女性の回答率を10ポイント以上上回っている。その他の項目については、性別による差は小さい。

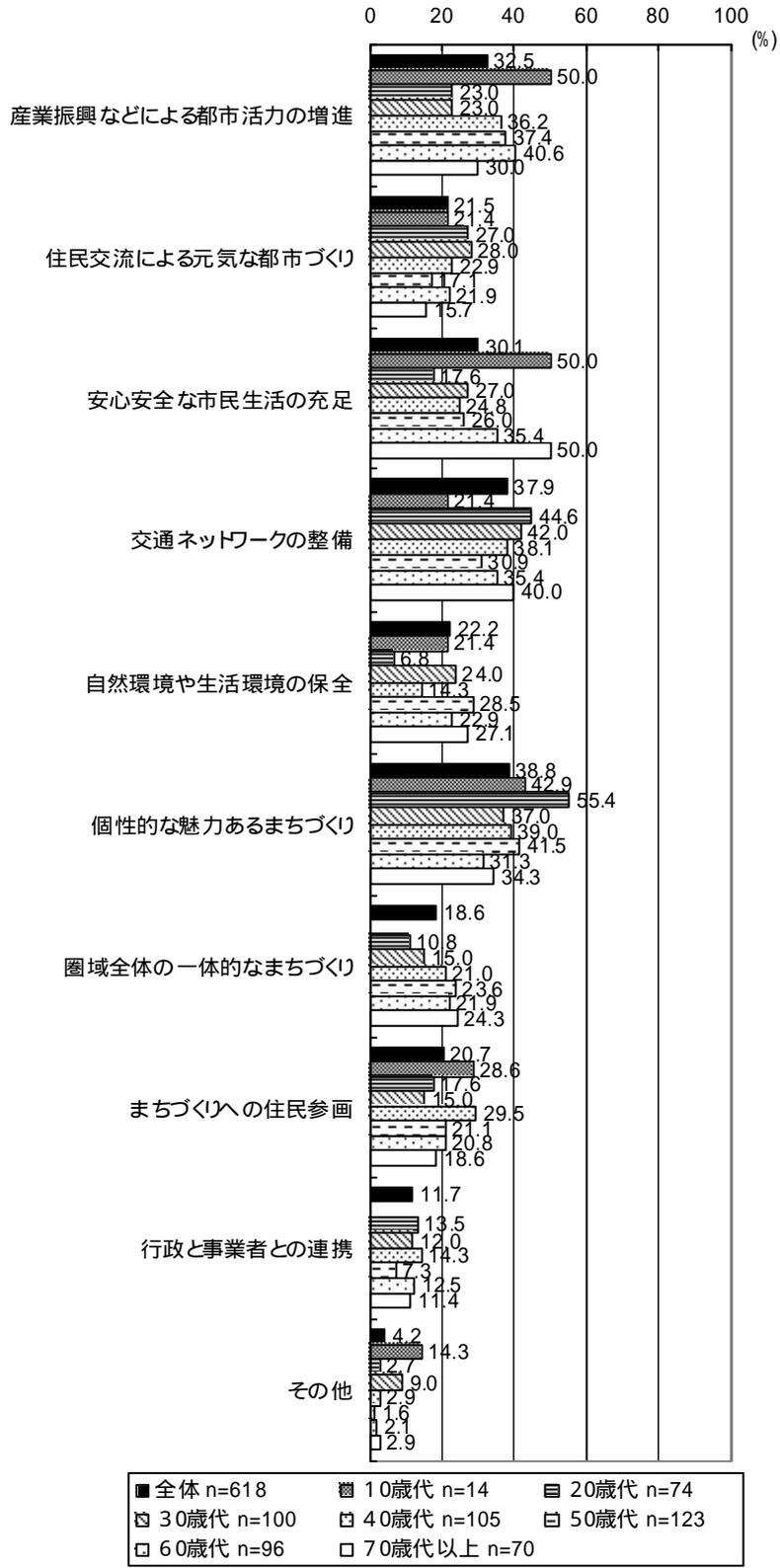


(3) 年齢階層別

年齢階層によって評価の差が特に大きいのは、「産業振興などによる都市活力の増進」、「安心安全な市民生活の充足」、「個性的な魅力あるまちづくり」、「まちづくりへの住民参画」である。

「産業振興などによる都市活力の増進」については10歳代、60歳代で、「安心安全な市民生活の充足」については10歳代と60歳代、70歳代以上で、「個性的な魅力あるまちづくり」については20歳代で、「まちづくりへの住民参画」については10歳代と40歳代で、それぞれ回答率が高くなっている。

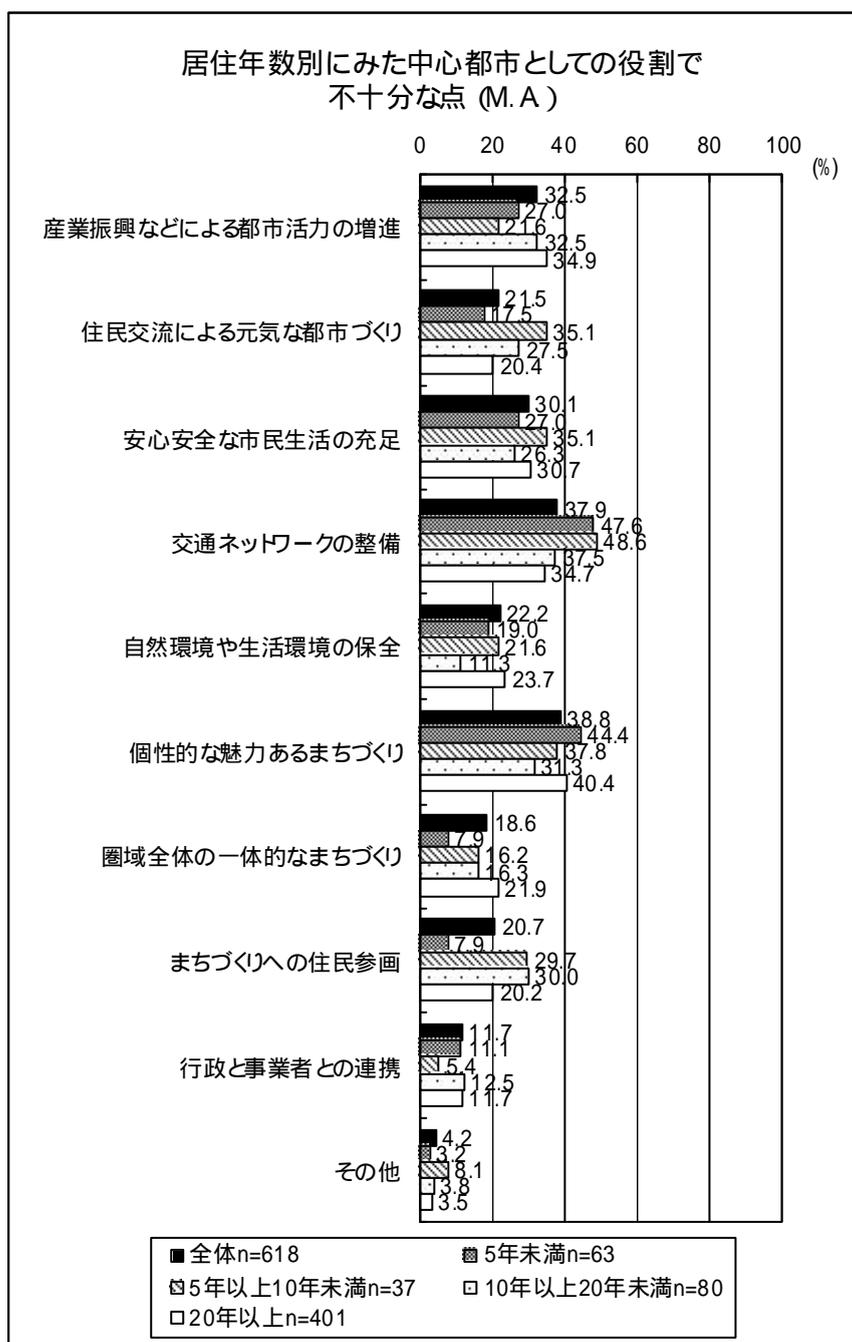
年齢階層別にみた中心都市としての役割で
不十分な点 (M.A.)



(4) 居住年数別

サンプル数の多い20年以上居住する回答者以外では、居住年数別でかなりの差がみられる。中でも、特に差が大きいのは、「住民交流による元気な都市づくり」、「交通ネットワークの整備」、「まちづくりへの住民参画」である。

「住民交流による元気な都市づくり」では、5年以上10年未満の回答率が、「交通ネットワークの整備」では、5年以上10年未満の回答率が、「まちづくりへの住民参画」では、10年以上20年未満と5年以上10年未満の回答率が、それぞれ高くなっている。

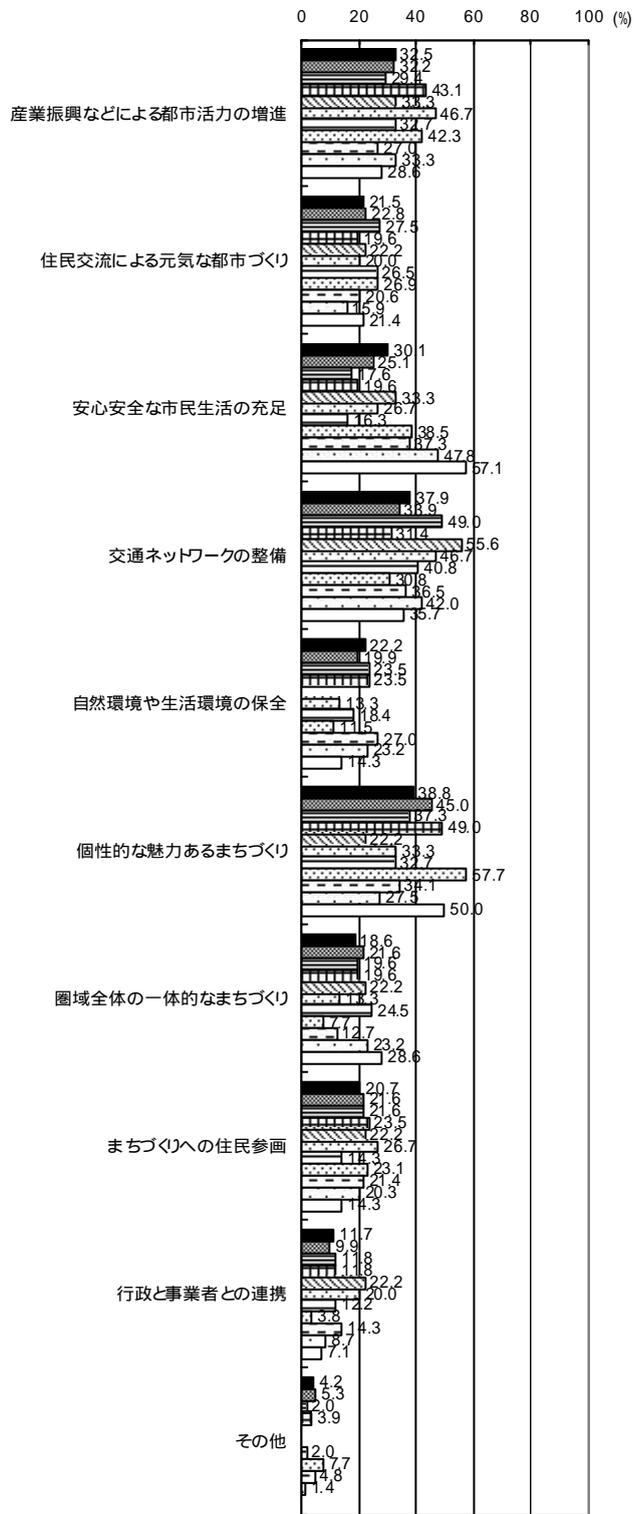


(5) 職業別

職業別での回答状況にもかなりの差がみられるが、「交通ネットワークの整備」、
「個性的な魅力あるまちづくり」では特にその差が大きい。

「交通ネットワークの整備」については、農林水産業、公務員の回答率が、また、「個性的な魅力あるまちづくり」については、学生、その他、商工サービス自営業の回答率が、それぞれ全体を10ポイント以上上回っている。

職業別にみた中心都市としての役割で
不十分な点 (M.A.)

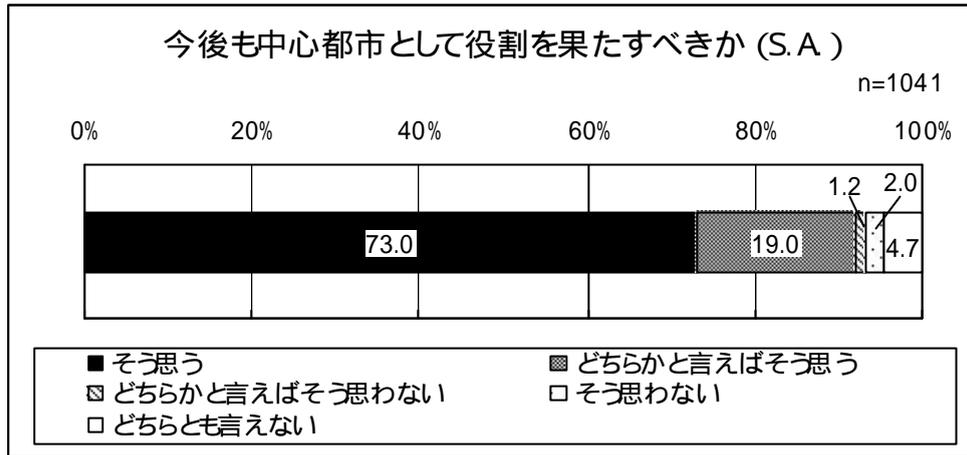


■全体 n=618
 □公務員 n=51
 □農林水産業 n=9
 □パート・アルバイト・フリーター n=49
 □主婦 n=126
 □その他 n=14
 □会社員・団体職員 n=171
 □商工サービス自営業 n=51
 □自由業 n=15
 □学生 n=26
 □無職 n=69

今後も中心都市としての役割を果たすべきか (S.A.)

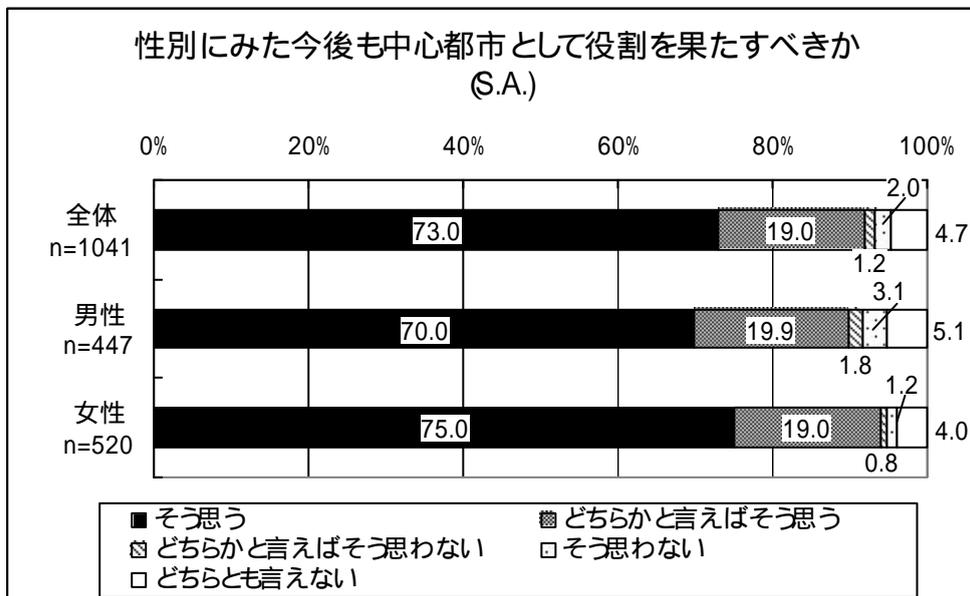
(1) 全体

「そう思う」とする回答が73.0%と圧倒的に高く、「どちらからと言えばそう思う」も含めると、今後とも中心都市としての役割を果たすことに肯定的な回答は92.0%に達する。



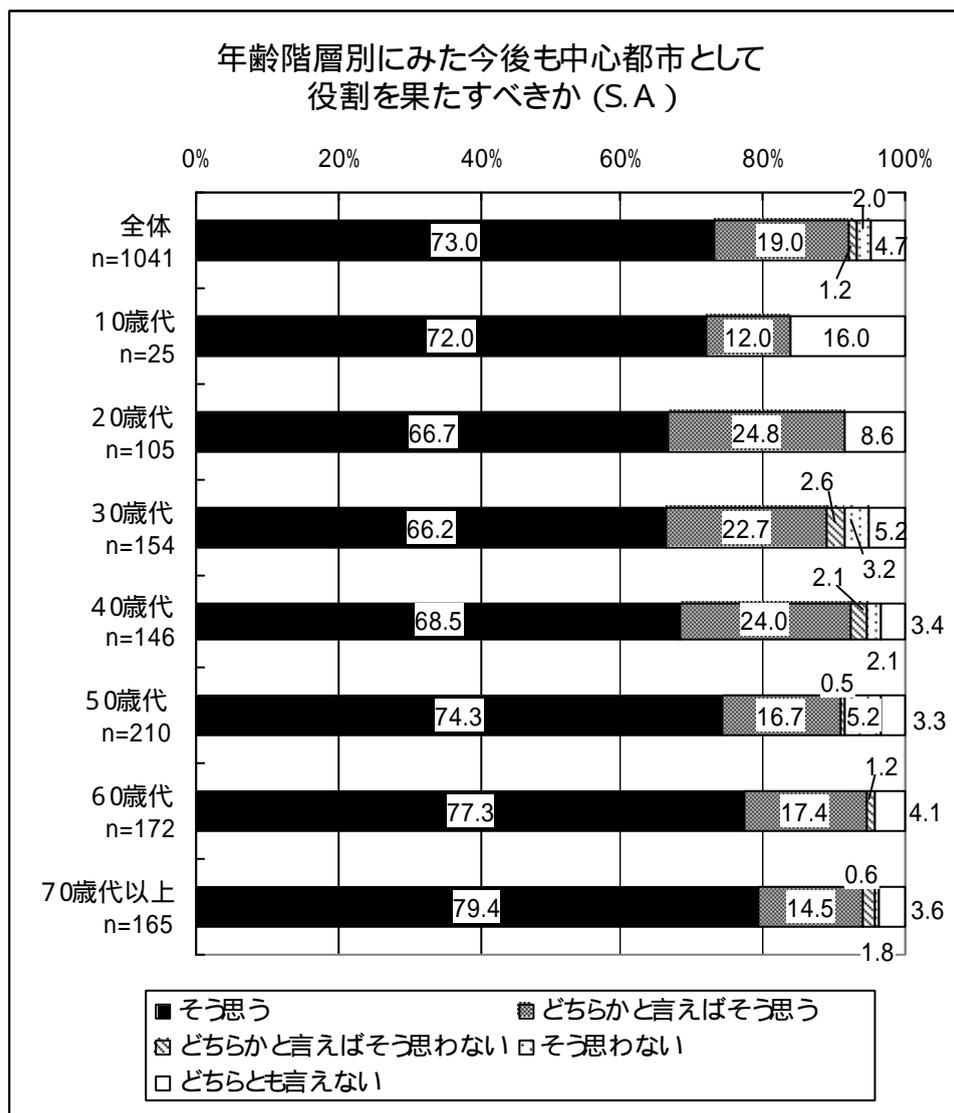
(2) 性別

「そう思う」では、女性の回答率が男性のそれを5ポイント上回っているなど、性別での若干の特徴はあるが、基本的な傾向の差はほとんどない。



(3) 年齢階層別

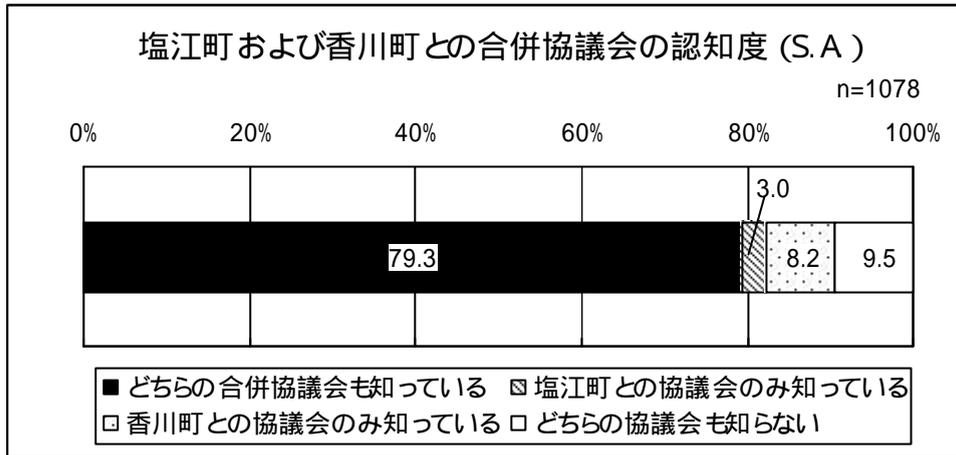
60歳代、70歳代以上など年齢階層が高いほど「そう思う」とする回答率が高く、一方、20歳代から40歳代では、「どちらかと言えばそう思う」の回答率が相対的に高い。「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」を合わせて、肯定的な回答は、10歳代と30歳代を除いて9割を超えており、全体の回答結果と基本的に合致している。



塩江町および香川町との合併協議会設置の認知度 (S.A.)

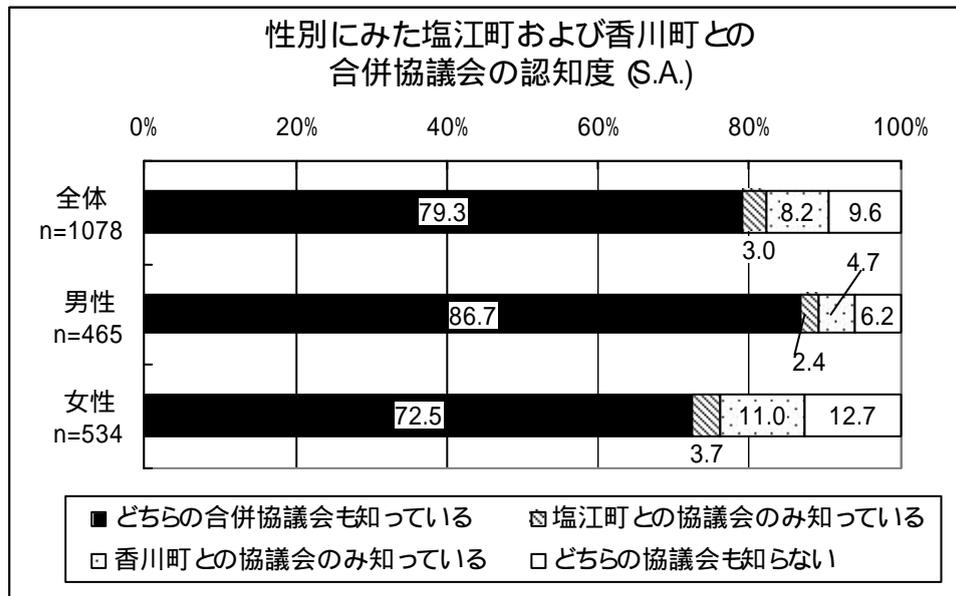
(1) 全体

「どちらも知っている」との回答は79.3%と約8割に達しており、一方、「どちらの協議会も知らない」との回答は1割未満(9.5%)と少なく、認知は進んでいる。



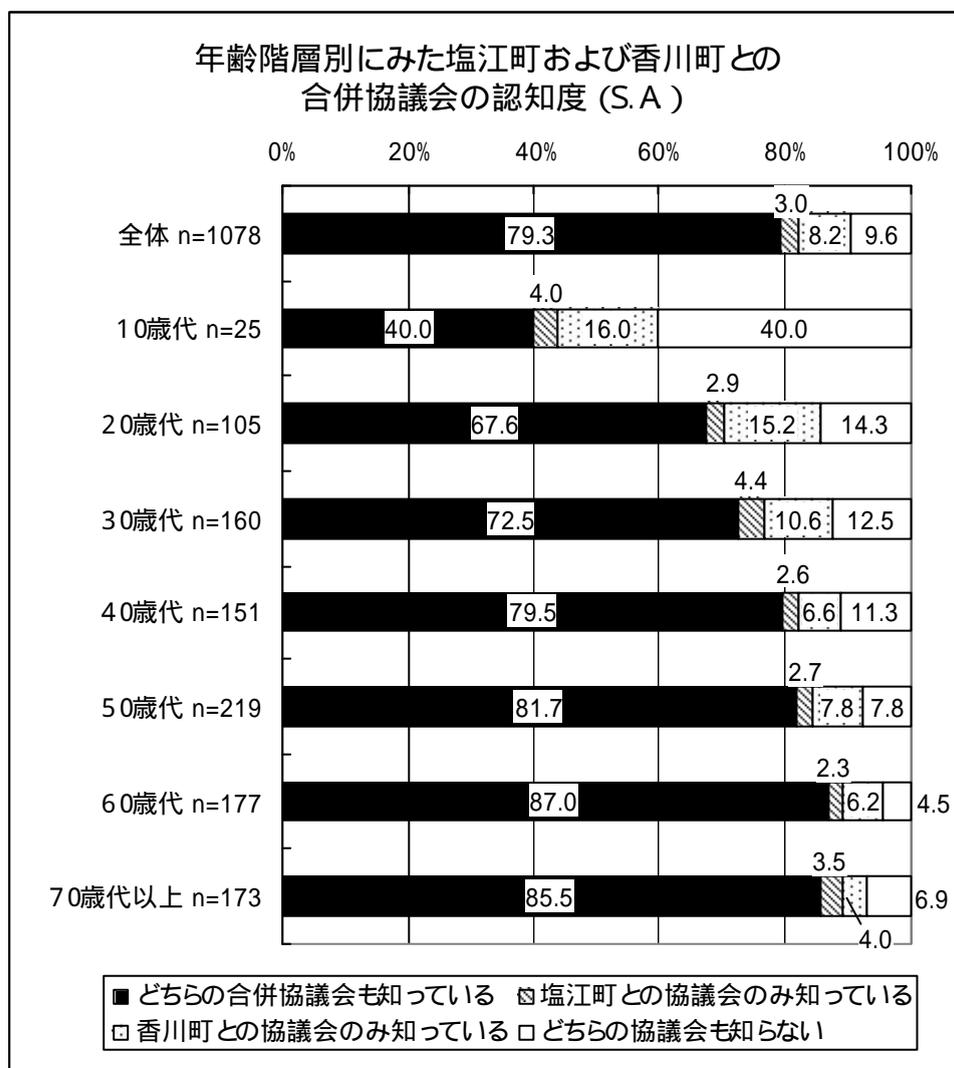
(2) 性別

「どちらの合併協議会も知っている」との回答は男性が86.7%、女性が72.5%と男性の認知度の方が高い。「どちらの協議会も知らない」との回答は女性が12.7%、男性が6.2%であり、女性が男性の約2倍になっている。



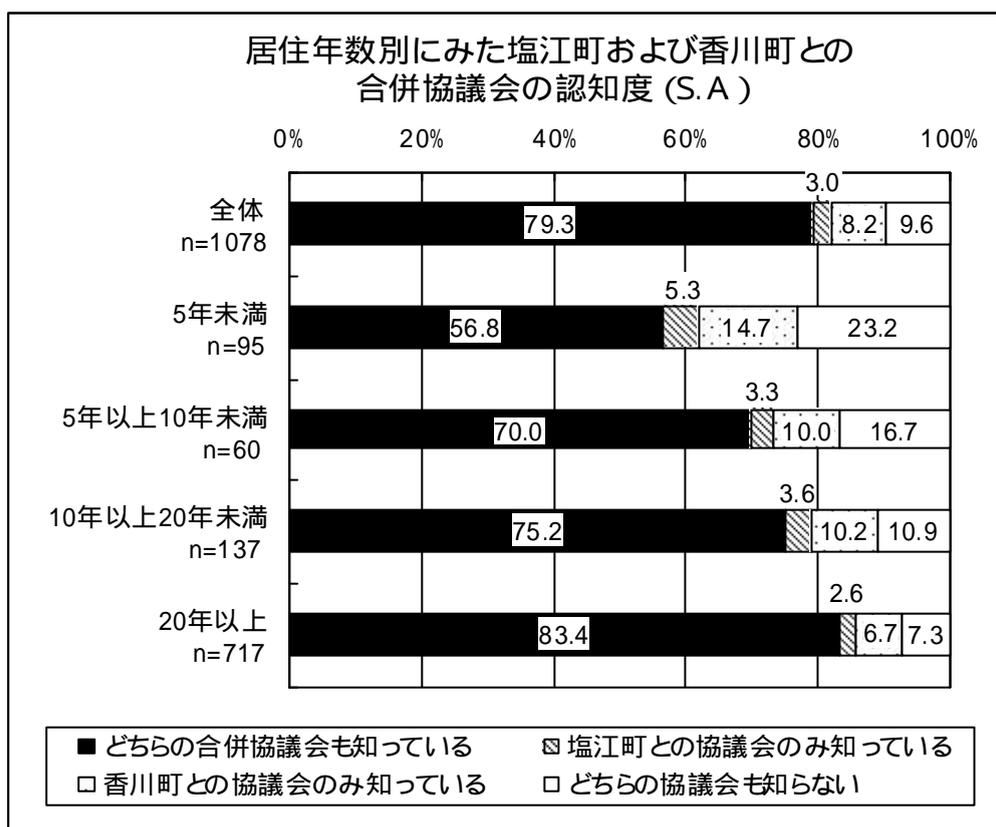
(3) 年齢階層別

「どちらの合併協議会も知っている」は、60歳代の87.0%を最高に20歳代以上では圧倒的に高いが、10歳代では「どちらの協議会も知らない」と同率の40.0%と低い。



(4) 居住年数別

「どちらの合併協議会も知っている」は、いずれも回答率が圧倒的に高いが、居住年数が長いほど回答率が高くなっており、20年以上では83.4%に達している。一方、これとは逆に、「どちらの合併協議会も知らない」は、居住年数が短いほど回答率が高く、5年未満では1/4に近い23.2%となっている。



(5) 職業別

「どちらの合併協議会も知っている」の回答率は、学生の51.2%が最も低いが、いずれの職業でも過半数を超えており、その他(95.7%)、自由業(88.5%)などが、特に高い。一方、「どちらの協議会も知らない」は、学生が29.3%と高いほかは、会社員・団体職員を除いて10%未満となっている。

